

分野：②

## 学校ビオトープで夏の生きものを探しながら生き物の仕組みを学ぶ

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立清進小学校 4年（110人）

所要時間  3クラス40分

場所 校内のビオトープ

実施時期 令和3年7月7日

## 概要

学校ビオトープで夏の生きものを探しながら生き物の仕組みを学ぶ

プログラムの  
ねらい

校内にある水辺と森と草地のビオトープで夏の生きものを探しながら手入れの仕方を学ぶ

## プログラムの内容

## 各クラス40分授業を3クラス行う

## 1 活動内容と注意点の説明（5分）

ハチに出会った時の安全な対処の仕方、全員に蚊取り線香をつける

## 2 草地と森のビオトープの説明（30分）

2班に分かれて15分ずつ活動する。

○森では、アズマネザサを覚えてから、ハサミで

根元から刈って黒パットにまとめて虫元氣に入れる

○草地では、外来植物のシロツメグサとアレチギシギシを

覚えてから、シャベルで掘り出しゴミ袋に入れる。

## 3 感じたことを発表（5分）

感じたことの発表と使った道具の確認



## 受講者の反応

森では、ササがたくさん生えていたので、刈り取るのが楽しかった。

バッタがたくさんできて面白かった。

土からキノコが出ていたので説明を聞いてよくわかった。

チョウが飛んできて楽しかった。

コガネムシが樹液を吸いに来っていた。

アレチギシギシの根が深いので抜くのが大変だった。